

『CT 造影理論』 正誤表

このたびは『CT 造影理論』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2023年11月13日作成

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1～9	5 頁, 図 I -6	イオパ <u>ロ</u> ミン	イオパ <u>ミ</u> ロン	2023/11/13
1～9	39 頁, 図 II -6	—— 循環量 <u>3,600</u> mL/分	—— 循環量 <u>5,200</u> mL/分	2023/11/13
1～9	39 頁, 図 II -6 循環量 <u>5,200</u> mL/分 循環量 <u>3,600</u> mL/分	2023/11/13
1～9	44 頁, 図 II -12	→ <u>646</u> mgI/秒→ <u>806</u> mgI/秒	→ <u>806</u> mgI/秒→ <u>646</u> mgI/秒	2023/11/13
1～9	45 頁, 図 II -13	→ <u>646</u> mgI/秒→ <u>806</u> mgI/秒	→ <u>806</u> mgI/秒→ <u>646</u> mgI/秒	2023/11/13
1～9	45 頁, 表 II -1	造影剤濃度 240 mgI/mL の 行の数値が誤っていました	修正した表 (下記) をご覧ください	2023/11/13
1～9	49 頁, 図 II -19	図に誤りがありました	修正した図 (下記) をご覧ください	2023/11/13
1～9	49 頁, 見出し	e.TDC の見方・考え方 <u>(1)</u> enhancement unit (EU)	e.TDC の見方・考え方 (<u>本文中の(1)～(7)は図 II -19 内の番号と一致</u>) ・ enhancement unit (EU) <u>(図 II -19 の縦軸)</u>	2023/11/13
1～9	50 頁, 見出し	<u>(3)</u> 注入開始時間[injection start time (秒)] <u>(4)</u> 注入時間[injection time (秒)] <u>(5)</u> 造影剤検出時間 [detection time (秒)] <u>(6)</u> 傾き[inclination (度)] <u>(7)</u> 最大 CT 値到達時間[max CT number of time (秒)] <u>(8)</u> 最大 CT 値 [max CT number (HU または EU)] <u>(9)</u> 平衡相 CT 値 [balance phase of CT number of time (HU または EU)] <u>(10)</u> 半値幅	<u>(1)</u> 注入開始時間[injection start time (秒)] <u>(2)</u> 注入時間[injection time (秒)] <u>(3)</u> 造影剤検出時間 [detection time (秒)] <u>(4)</u> 傾き[inclination (度)] <u>(5)</u> 最大 CT 値到達時間[max CT number of time (秒)] <u>(6)</u> 最大 CT 値 [max CT number (HU または EU)] <u>(7)</u> 平衡相 CT 値 [balance phase of CT number of time (HU または EU)] <u>(8)</u> 半値幅	2023/11/13



刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1~9	54 頁, 図 II -23 MDCT の行の左から 3 番目の矢印	↑ (2)	↑ (3)	2023/11/13
1~9	59 頁, 上から 3 行目	注入 <u>開始</u> 速度を注入 <u>終了</u> 速度で	注入 <u>終了</u> 速度を注入 <u>開始</u> 速度で	2023/11/13
1~9	73 頁, 上から 2 行目	ピッチの特異的な関係はみられない(図 II -45)	ピッチの特異的な関係はみられない(図 II -45, <u>図 II -46A</u>)	2023/11/13
1~9	75 頁, 上から 4 行目	(<u>図 II -46a,b</u>)	(<u>図 II -46B</u>)	2023/11/13
1~9	75 頁	図 II -48A 光電効果と図 II -48B コンプトン効果が入れ替わって掲載されていました		2023/11/13
1~9	77 頁, 図 II -50A	矢印の位置に誤りがありました	修正した図 (下記) をご覧ください	2023/11/13
1~9	93 頁, 図 II -67 図タイトル	<u>ヨード含有量</u> (mgI/mL)の違いによる TDC	<u>造影剤濃度</u> (mgI/mL)の違いによる TDC	2023/11/13
1~9	93 頁, 図 II -67 図説	現在多く実施されている使用量 (mL) と注入速度 (mL/秒) を中心に考えた方法では, TDC が変化する。	現在多く実施されている使用量 (mL) と注入速度 (mL/秒) を中心に考えた方法では, <u>ヨード含有量が変化するため</u> TDC が変化する。	2023/11/13
1~9	95 頁, 上から 2 行目	(秒) を <u>固定とした</u> 現在多くで実施されている	(秒) を <u>一定に設定した</u> 現在多くで実施されている	2023/11/13
1~9	143 頁, 図 III -10B 紺色のグラフ	<u>3.8</u> mL/秒	<u>2.8</u> mL/秒	2023/11/13
1~9	147 頁, 図 III -13 図タイトル	造 <u>営</u> 剤容量	造 <u>影</u> 剤容量	2023/11/13
1~9	157 頁, 図 III -19	グラフの説明に誤りがありました	修正した図 (下記) をご覧ください	2023/11/13
1~9	159 頁, 上から 3 行目	2 mL × 300 mgI	2 mL × 300 mgI/ <u>mL</u>	2023/11/13
1~9	161 頁, 図 III -21	グラフの説明に誤りがありました	修正した図 (下記) をご覧ください	2023/11/13
1~9	163 頁, 下から 3 行目	また <u>大動脈</u> , 門脈濃度ピーク時間は心拍数の増加とともに早くなる傾向があった。 <u>肝</u> 濃度ピーク時間もわ	また門脈濃度, <u>肝濃度</u> ピーク時間は心拍数の増加とともに早くなる傾向があった。 <u>大動脈</u> 濃度ピーク時間	2023/11/13

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
	(続き)	ずかに早まる傾向にあった。	もわずかに早まる傾向にあった。	
1~9	164 頁, 図Ⅲ-23B	グラフの説明に誤りがありました	修正した図(下記)をご覧ください	2023/11/13
1~9	165 頁, 図Ⅲ-23D	グラフの説明に誤りがありました	修正した図(下記)をご覧ください	2023/11/13
1~9	167 頁, 図Ⅲ-24B	矢印の位置に誤りがありました	修正した図(下記)をご覧ください	2023/11/13
1~9	178 頁, 下から 1 行目	肝細胞癌 36 <u>列</u> 47 結節	肝細胞癌 36 <u>例</u> 47 結節	2023/11/13
1~9	192 頁, 表Ⅲ-22 注	$p < 0.0.1$	$p < 0.01$	2023/11/13
1~9	240 頁, 表付録Ⅱ X 線造影剤効能・効果 一覧	イオパ <u>ロ</u> ミン	イオパ <u>ミ</u> ロン	2023/11/13

表Ⅱ-1 造影剤濃度による使用ヨード量の違い

造影剤濃度 (mgI/mL)	使用量 (mL)	使用ヨード量 (gI)	実際使用量 (mL)	実際使用ヨード量 (gI)
370	80	29.6	60	22.2
240	123	29.52	103	24.72

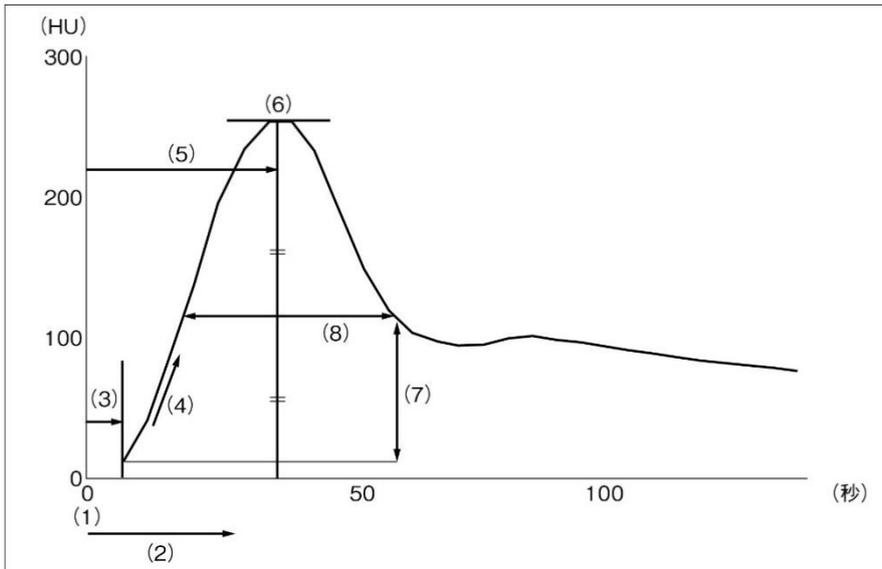


図 II -19 TDC における変化点

TDC の検討において各パラメータを変化させた場合どの点がどのように変化するのが重要となる。

(2), (3), (5), (6), (7), (8)が注目点となるがこのなかで, (5), (6)の変化を整理しておくとい。

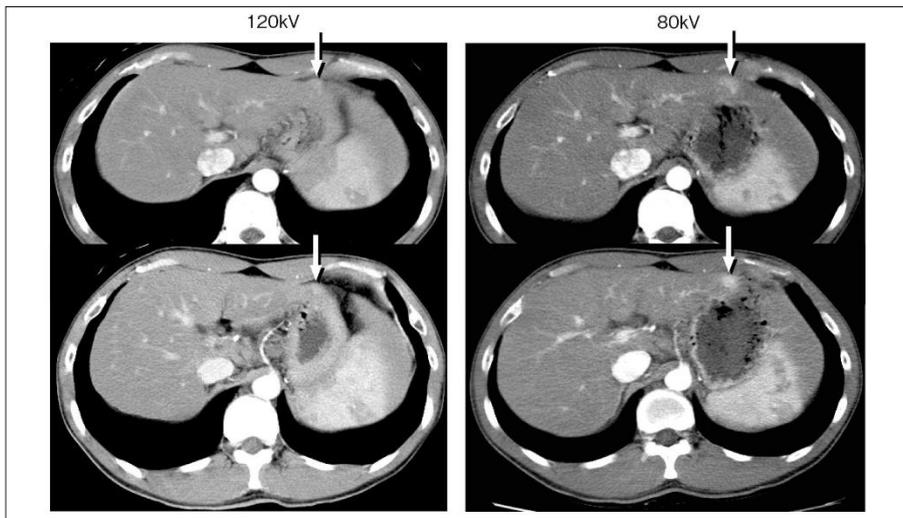
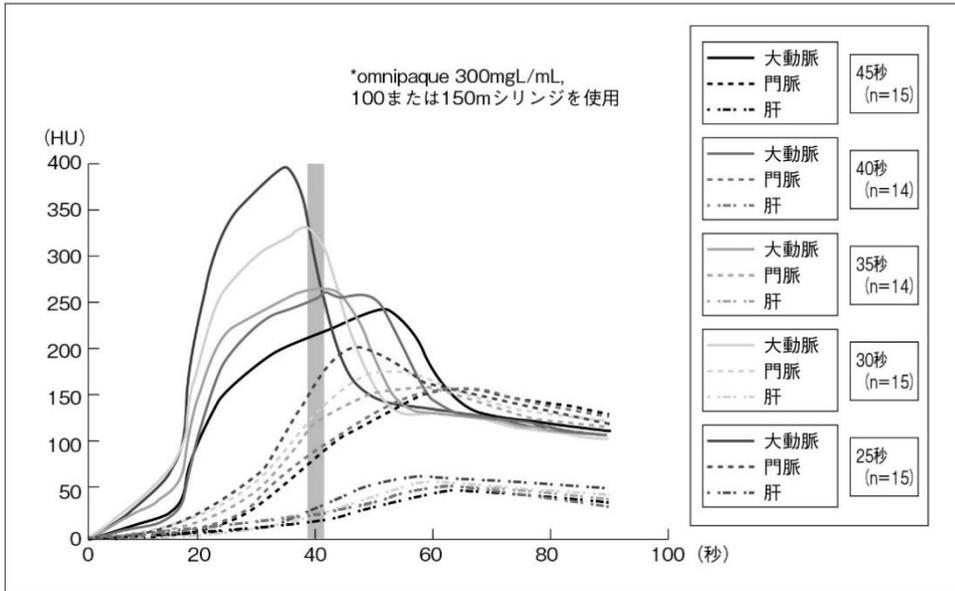
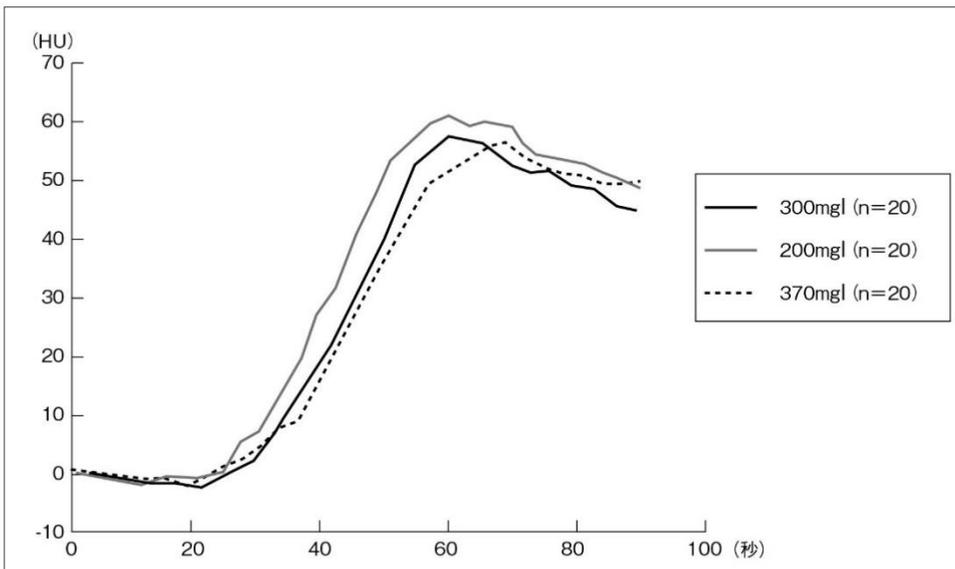


図 II -50A 撮影管電圧 120kV, 80kV における肝臓ダイナミック CT 画像(SDCT)

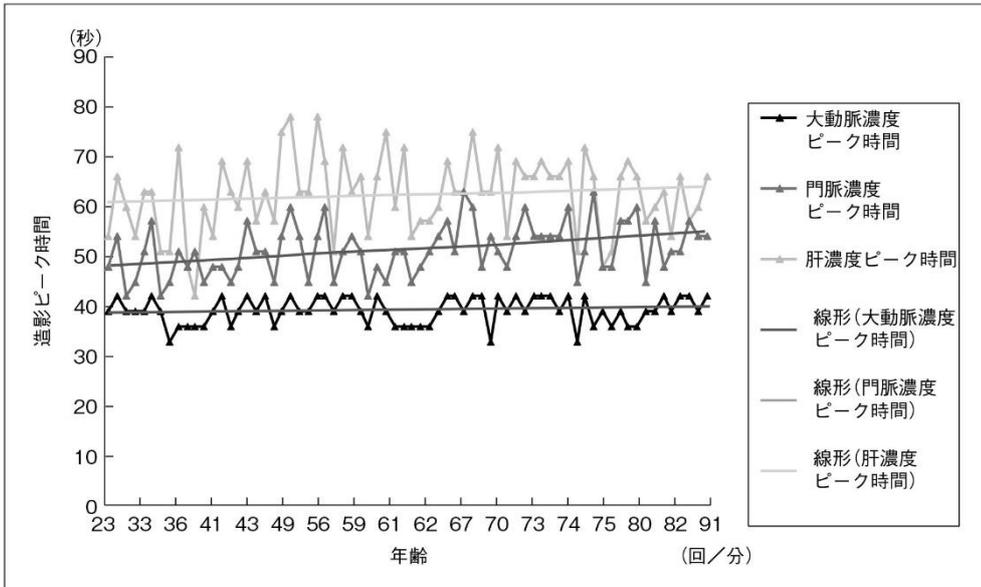
7mm スライス厚, ヘリカルピッチ 1.5, 画像再構成関数: soft, 300mgI/mL, 2.0mL/kg, 3.0mL/秒, ディレイタイム: 40 秒



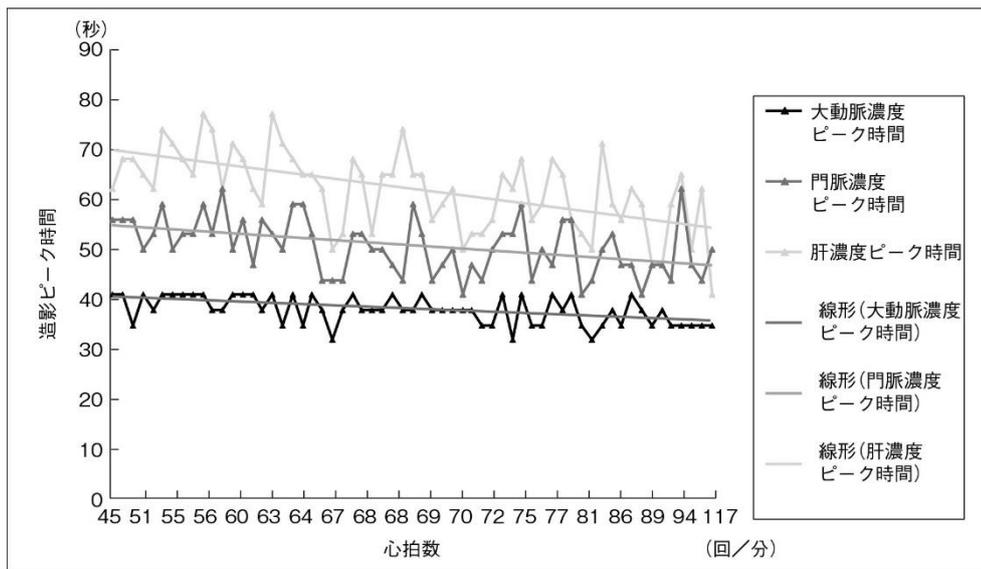
図Ⅲ-19 異なる固定造影剤注入時間を用いた場合の非硬変肝症例における各臓器の TDC
 灰色で示したところが、造影前に比し肝 CT 値が 20HU 上昇する時間帯である。造影剤注入時間を 35 秒としたときの大動脈濃度ピーク時間とほぼ一致してしている。



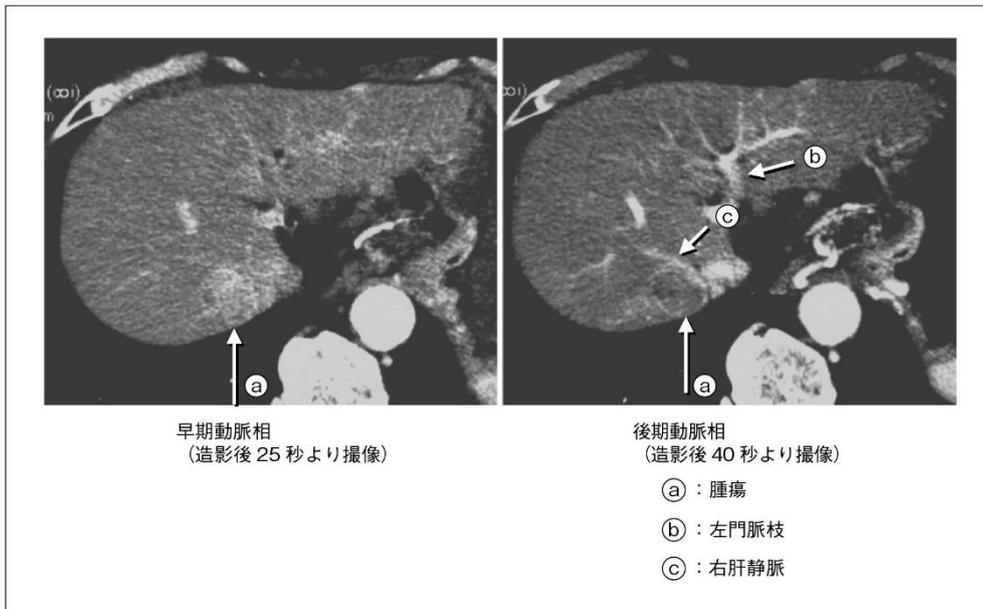
図Ⅲ-21 固定造影剤注入時間プロトコールにおける造影剤濃度の肝への影響
 [注入時間(30 秒), 時間比ヨード量(1.2g/秒), 総投与ヨード量(600mgI/kg)一定]



図Ⅲ-23B 年齢と各臓器における濃度ピーク時間との関係



図Ⅲ-23D 心拍数と各臓器における濃度ピーク時間との関係



図Ⅲ-24B 多血性肝細胞癌(非典型例)